

元吉町 まちづくりニュース

祇園新橋地域のまちづくりを考えていくため、「元吉町まちづくり部」を立ち上げ、活動を開始しました。「元吉町まちづくりニュース」は、これからのまちづくりを皆様とともに考え、その取組をお知らせするニュースです。

Vol. 9

2016年(平成28)2月

発行：元吉町まちづくり部

TEL：090-1918-4249(富田)

部の活動に関するご意見・ご質問がありましたら、ぜひご連絡下さい。

第15回意見交換会のご案内

祇園の歴史を学ぶ

京都検定1級でもある末吉町の坂田さんに地元祇園の歴史をお話ししてもらいます。

【日時】2016年**2月9日(火)午後1時30分**~3時

【場所】「登希代の2かい」(大和大路新橋通上ル東側)

【申込】申込は不要です。会費も無料です。気楽にご参加ください。

元吉町に限らず祇園新橋地区の皆さまのご参加お待ちしております！

報告

辰巳大明神<寒供養祭>

大寒となる1月21日(木)、辰巳大明神の寒供養祭が執り行われました。

まちづくり部の取組として、のぼりを掲げさせていただきました。のぼりも3回目となり、ますますお手伝いして下さる人数も増えてまいりました。ありがとうございます。

祭りの後片付けの後に、プチ足洗いを行いました。2回目となる今回は登希代さんのご協力によりお雑煮を頂きました。こちら参加人数が増え、歓談にしばしの時を過ごしました。

料理屋さんの多い地域でありますので、いろいろなお店に足洗い料理にご協力していただきたいと思っております。ぜひ、立候補の程よろしく願いいたしますm(_ _)m



のぼり準備も3回目ですが、それでもまだまだ慣れと改善が必要です(^_^;)



八坂神社の宮司さんのおかげで寒供養祭もしめやかに執り行われました。



登希代さんに作っていただいた、お下がりの鯛など具だくさんのお雑煮です。

紹介

あたらしいお店< 祇園新橋 中谷 >



場所 新橋通り切通し上ル 元吉町 51-1
営業時間 PM6時~PM11時 ラストオーダー
定休日 不定休
電話 075-525-1881
メニュー おすすめコース 8000円(税別)
アラカルトメニューあり
こだわり 淡路直送の新鮮魚介と旬の京野菜を気軽に味わっていただくのが「中谷」流。



第14回意見交換会では、景観づくり協議会の設立を目指して、NPO 京都景観フォーラムの森川氏からその準備について説明していただきました。

景観づくり協議会という制度を活用することで、地域の住民と事業者と地権者とのコミュニケーションをはかり、それぞれにとってよりやりやすい環境をつくるのが、祇園新橋の景観を守り育てていくことにつながると考えております。

今回は京都市景観政策課の担当者も出席してくださいましたが、今後ともより連絡を密に取り合うことで、より良い連携を作っていきたいと思っております。



1月12日(火)「登希代の2かい」にて。参加者は15名でした。

【議事録メモ】

①地域景観づくり協議会の設立

- ・協議会は①準備段階の組織を立ち上げ、②合意形成のシナリオを組み立て、③協議会のデザイン・規約を決め、④総会で自治組織や地域の承認を得て、⑤認定申請という流れである。
- ・準備会の段階から、協議会で意思決定や合意形成できることを見越してメンバーを考えておいた方が良い。
- ・中心的担い手が数名と積極的支持してくれる人が全体の2割になるよう合意形成をすすめる。
- ・組織のデザインや規約案の作成では、協議会の目的と位置づけを明確にする。
- ・組織のデザインができれば、協議会の設立総会を行う。町内会などの自治組織が母体の場合と別の場合があります、その地域にあった方がよい。
- ・活動資金は必要であるが、会費を徴収されているケースは少ない。自治連や町内会から活動費をもらう、メンバーからの寄附等が考えられる。イベント等で資金を集めることも検討すべきかもしれない。

②まちの将来像～景観づくり計画書へ

- ・計画書は①地域の課題や将来像を共有し、②ビジョン案にまとめ、③協議会会員の意向を把握し、④総会で合意を得られたら、⑤計画書の認定申請という流れなる。
- ・地域の課題と将来像の検討・共有の方法として、協議会事務局でタタキ台を作り、それを元に、地域全体の意見交換や共有を進めることが多い。
- ・計画書の認定を受ける際は、協議会の取組が会員に十分周知されているか、合意を得ているかが重要視される。
- ・組織の認定と計画書の認定が受けられたら、協議会がスタートする！

③認定後の運用

- ・協議会の運営では、町内会程度の規模の方がきめ細かさという点で上手くいけていると感じられる。
- ・合意形成には賛同者の確保が重要。役員数は、できれば全世帯の1割程度が役員になって欲しい。
- ・お金がかかるのは、基本的には協議に必要なコピー代程度。
- ・協議は地域や住民が直接行うため、地域や住民に負担がかかる制度でもある。
- ・関係づくりのための制度なのに、それが上手くいかず入口のところで敵対してしまうと、関係が悪いまま地域に来ることになり、その後の地域運営にマイナスになってしまうという失敗例もある。
- ・課題として、地域に負担がかかる制度なので、協議に行政や専門家のサポートも必要。
- ・制度の運用で中心的な役割を担う少数の人に負担がかかることが多いため、継続的に活動していくための担い手の育成がこれからの課題。

④その他

- ・2016年は祇園祭の取組を具体的に進めたいと思っています。
- ・景観づくりの取組として、すだれ、のれん、門幕、提灯などの飾り付けのお声かけをしていきたい。